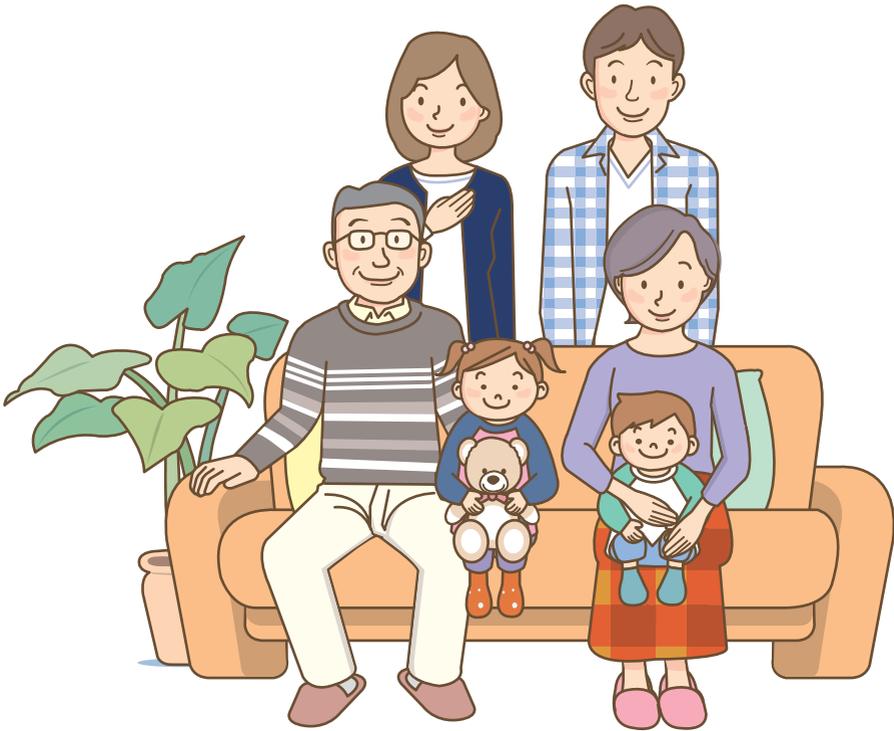


～心不全～

入院で
トルバプタン「トーワ」
を開始し、
外来で継続服用される方へ



来院されるときに、この記録表を忘れずにお持ちください

トルバプタン「トーワ」について

あなたは心臓の働きが弱くなることによって、足などに余分な水分が溜まりやすくなっています。この薬は体にたまった余分な水分を尿として排泄することで、むくみを取り除く薬です。

次のようなことにご注意ください

のどが渴いたら、水分をとるように心掛けましょう。

- この薬を服用すると、尿量が増えて、のどが渴くことがよくあります。そのような場合には、水分を補給してください。詳しくは担当医師に相談してください。



必ず体重を測定しましょう。

- あなたの病気の状態を確認するために、医師の指導に従い、毎日決められた時間に体重を測定することが大切です。
- あなたの目指す体重(目標体重)は医師が決めますので、教えてもらってください。

薬は決められたとおりに服用してください

服用する量を守りましょう。

ご自身の判断で、服用する量を変えたり、中止したりしないでください。中止してしまった場合は服用を再開せず、必ず医師に相談してください。飲み忘れた場合も、同様に医師に相談してください。

以下の点にもご注意ください

- めまい等があらわれることがあるので、転倒に注意してください。
また、高いところでの作業や自動車の運転等危険を伴う機械の操作をする際には注意してください。
- グレープフルーツジュースと一緒に飲まないでください。
同時に飲むと薬の作用が強くなるおそれがあります。
- 他の薬と一緒に飲む場合、組み合わせによっては、薬の作用が強く出たり、弱まったり、または副作用が出たりすることがあります。
他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。



次のような症状がある場合は、速やかに医師の診察が必要です

ここにあげたこと以外にも薬を飲み始めて体に異常を感じたら、速やかに医師の診察を受けてください。

脱水症状が疑われるとき

- のどが渇き、水を飲んでも良くならない
- 皮膚・唇・口の中の渇きが急に目立ってきた
- 目標体重より、大幅に体重が減った



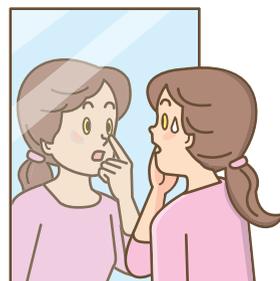
症状の悪化が疑われるとき

- 体重が短期間で急激に増加した
- むくみが強くなった
- 呼吸が苦しくなった
- めまい、立ちくらみがおこった



肝機能の障害が疑われるとき

- 強い倦怠感を感じた
- 吐き気を感じたり食欲が低下した
- 皮膚や白目が黄色くなった
- 尿が茶褐色になった



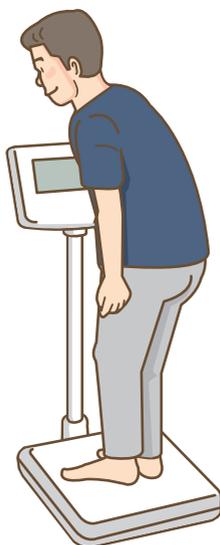
毎日決められた時間に体重を測定し、記録しましょう。

あなたの目指す体重(目標体重)は医師が決めますので、教えてもらってください。

退院時 月 日 の体重は kg です。

あなたの目標体重は kg です。

目標体重になった場合は、かかりつけの医師に相談してください。



体重・飲水量記録表

この薬を飲むときの注意点をまもり、
毎日決められた時間に体重・飲水量を記録しましょう。 [_____ 時測定]

1週目

日付	体重	飲水量
/ ()	kg	ml
/ ()	kg	ml
/ ()	kg	ml
/ ()	kg	ml
/ ()	kg	ml
/ ()	kg	ml
/ ()	kg	ml

2週目

日付	体重	飲水量
/ ()	kg	ml
/ ()	kg	ml
/ ()	kg	ml
/ ()	kg	ml
/ ()	kg	ml
/ ()	kg	ml
/ ()	kg	ml

月 日 曜日

次回の来院予定は _____ 月 _____ 日 _____ 曜日 _____ 時 _____ 分 _____ 秒です。

薬の効果や安全性、血液成分を調べたり、あなたの病状を確認する必要がありますので、決められた日には必ず来院してください。

3週目			4週目		
日付	体重	飲水量	日付	体重	飲水量
/ ()	kg	ml	/ ()	kg	ml
/ ()	kg	ml	/ ()	kg	ml
/ ()	kg	ml	/ ()	kg	ml
/ ()	kg	ml	/ ()	kg	ml
/ ()	kg	ml	/ ()	kg	ml
/ ()	kg	ml	/ ()	kg	ml
/ ()	kg	ml	/ ()	kg	ml

来院されるときに、この記録表を忘れずにお持ちください

ご家族（介護者）の方へ

※下記の注意事項を守っていただくため、患者さんが高齢の場合など、必要に応じてご家族（介護者）の方の介助をお願いいたします。

- 1 のどが渇いたら、水分をとることを心掛けていただきますようお願いいたします。詳しくは担当医師に相談してください。
- 2 毎日の体重測定は、ご家族（介護者）の方が一緒にご確認いただきますようお願いいたします。
- 3 体重が短期間で急激に増加した、あるいは減少した場合は、医師の診察を受けるようにしてください。
- 4 いつもより飲水量が目立って増加した、皮膚や唇・口の中の乾燥が目立つ、むくみが強い、呼吸が苦しそう、めまいや立ちくらみがあるなどの症状に気付かれた場合は、医師の診察を受けるようにしてください。
- 5 医師より塩分制限などの食事管理の指導があった場合は、食事管理にご協力をお願いいたします。詳しくは担当医師に相談してください。
- 6 強い倦怠感が出た、吐き気や食欲が低下した、皮膚や白目が黄色くなった、尿が茶褐色になったなどに気付かれた場合は、医師の診察を受けるようにしてください。